

地域包括ケア「見える化」システムを活用した 三春町地域分析レポート

令和4年9月
福島県 三春町

【目 次】

1	地域包括ケア「見える化」システムの利用目的と分析結果.....	3
	（1）利用目的.....	3
	（2）データの取得について.....	3
	（3）三春町地域分析の結果.....	4
	（4）地域の特徴と要因及び課題について.....	5
2	高齢者世帯状況の比較について.....	6
3	第1号被保険者数の比較について.....	8
4	要支援・要介護認定者数と認定率の比較について.....	9
5	受給率の比較について.....	12
6	サービス利用者1人あたり給付費の比較について.....	14
7	福島県内市町村の第1号保険料基準額（月額）の比較について.....	16

1 地域包括ケア「見える化」システムの利用目的と分析結果

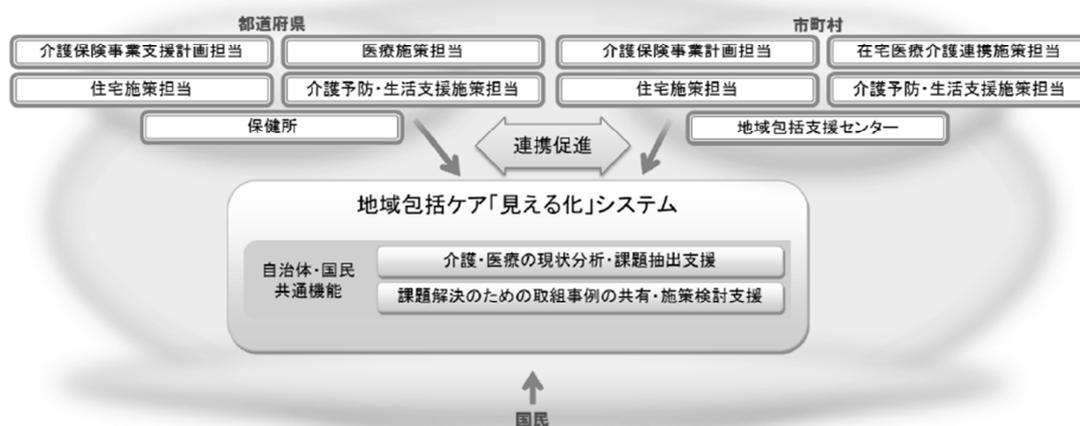
(1) 利用目的

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されています。

本システム利用の主な目的は、以下のとおりです。

- 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする。
- 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする。
- 都道府県・市町村内の関係者が一元化された情報の閲覧が可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易となる。

また、本システムは、平成27年7月の本格稼働以降、一部の機能を除いて誰でも利用することができるようになりました。このことから、住民も含めた地域の関係者間で、地域の課題や解決に向けた取組を共有でき、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しやすくなりました。



(2) データの取得について

本レポートに使用しているデータは、2022年9月に地域包括ケア「見える化」システムより取得しました。そのため、「国勢調査」は2015年が最新データとなっているため、2020年データは総務省統計局ホームページより取得した内容で比較しています。

(3) 三春町地域分析の結果

地域包括ケア「見える化」システムを活用し、取得データから三春町の地域分析を行い、その結果を以下に記載しました。

- ① 三春町の高齢者世帯の状況（国勢調査：一般世帯）

2020年における高齢独居世帯は、全国12.1%よりもやや低い**11.8%**となり、福島県と同率でした。近隣・同規模自治体のなかでは会津坂下町、小野町に次いで高い状況です。

また、高齢夫婦世帯は**12.6%**となり、全国10.7%や福島県10.5%よりも高く、近隣・同規模自治体のなかで最も高くなっています。

2000年に比べて2020年では高齢独居世帯が6.3^{ポイント}、高齢者夫婦世帯が6.6^{ポイント}増加し、2025年にはさらに増加することが想定されます。
- ② 三春町の第1号被保険者数の状況（介護保険事業状況報告）

2022年3月末における第1号被保険者数は、**5,826人**となり、年々増加傾向にあります。その中でも、前期高齢者（65歳以上74歳以下）は増加していますが、後期高齢者（75歳以上）は減少傾向にあります。
- ③ 三春町の認定率（要介護・要支援の認定者数／第1号被保険者数）

2015年から2017年にかけてやや上昇したものの、その後は減少傾向が見られ、2022年3月には**14.2%**と、全国18.9%、福島県19.3%を下回り、近隣・同規模自治体の中でも、最も低い状態となっています。

今後は、急激な増加とまらないために、介護予防事業を推進し、重度化防止に向けたサービスの利用促進を図ることが必要です。
- ④ 三春町の介護給付受給率（1ヶ月あたりの受給者数／第1号被保険者数）

2022年3月には**11.6%**と減少し、全国14.0%、福島県14.6%より下回っています。サービス系列別で見ると、施設サービス、居住系サービスではほぼ横ばいであるのに対し、在宅サービスが減少傾向にあります。
- ⑤ 受給者1人当たり給付月額（在宅及び居住系サービス分：施設入所は除く）

2021年には**134,177円**となり、全国130,298円、福島県124,153円より高く、また、近隣・同規模自治体のなかでも最も高くなっています。介護状態区分別に見ると、要介護1の受給額が多くなっています。
- ⑥ 第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービスと施設居住系サービス分）

福島県内の市町村分布図でみると、在宅サービスにおいても施設・居住系サービスにおいても、全国や福島県より低くなっています。

介護サービス種類別でみると、施設系では「地域密着型介護老人福祉施設」、居住系では「認知症対応型共同生活介護」、在宅系では「通所介護」が、国や福島県より高い状況ですが、いずれも町内に事業所があるためとなっています。また、給付額が低いものとしては「訪問介護」や「短期入所」が顕著に見られます。
- ⑦ 第8期計画における第1号保険料基準額
三春町の基準額は、**月5,762円**と第7期から据え置きとなり、全国6,014円、福島県6,108円よりも低く、福島県内59自治体中45番目に位置しています。また、介護保険事業の収支は、第5期計画、第6期計画ともにやや黒字決算、第7期においても黒字状況となっています。

(4) 地域の特徴と要因及び課題について

①三春町の特徴は、高齢者数は増加しているものの、前期高齢者数が後期高齢者を上回る状況に転換し、認定率は2020年度から減少傾向にある。

②三春町の認定者の年代別の比較を見ると、80歳代の認定率が減少傾向にある一方、90歳代での認定率が増加傾向にある。これまでの介護予防施策の効果や健康寿命の増加によるものと推察ができる。

③介護給付費においては、施設系及び居住系サービスは、おおむね横ばいで推移しているのに対し、在宅系サービスは減少傾向にある。近年のコロナ禍による利用控え等も影響していると思われるが、通所系サービスや短期入所が減少したのに対し、訪問入浴や訪問リハビリは増加しており、一定数の在宅サービスニーズがあると考えられる。

④サービス毎の給付費においては、通所介護や認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設については、全国平均よりも高い状況であるが、町内に当該サービスが整備されていることが要因となる。また、訪問介護は、事業所数も少ない状況もあり全国と比較して大幅に低い給付費となっている。

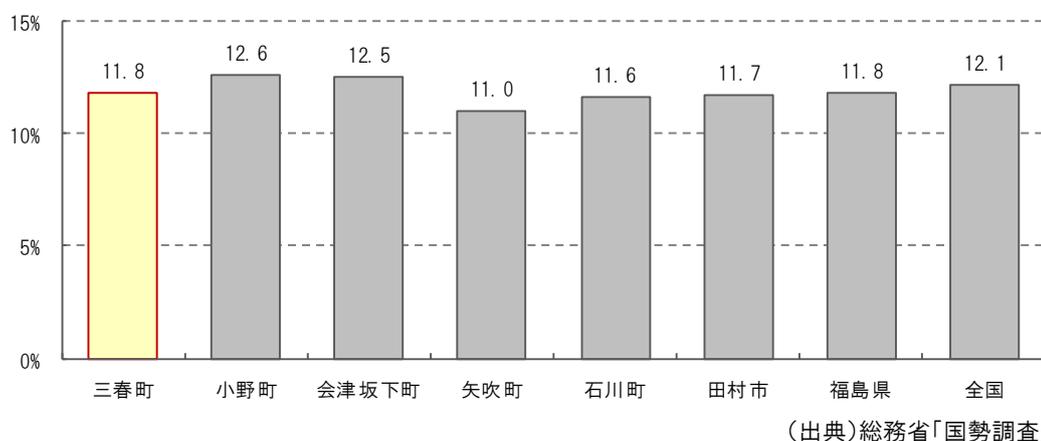
このため、三春町においての在宅サービスは、訪問型より通所型の利用が高い傾向がある。

⑤現状では、おおむね計画内での推移となるが、今後認定者数が増加に転じる時期を正しく見定められるかが課題である。また、訪問介護の提供体制が少ない状況で、今後のニーズに対応できるよう生活支援体制整備を行う必要がある。

2 高齢者世帯状況の比較について

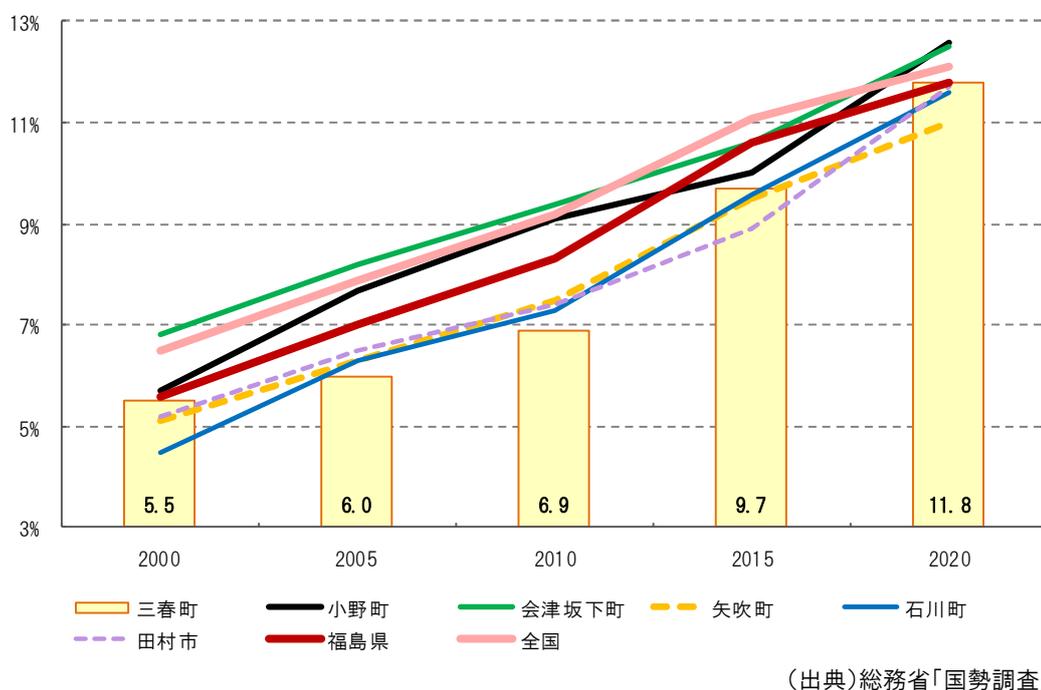
○三春町の高齢独居世帯の割合は、全国（12.1%）よりやや下回り、福島県（11.8%）と同率の11.8%となっています。近隣・同規模自治体では、会津坂下町、小野町に次いで高い割合となっています。

■ 高齢独居世帯割合に関する比較（2020年）



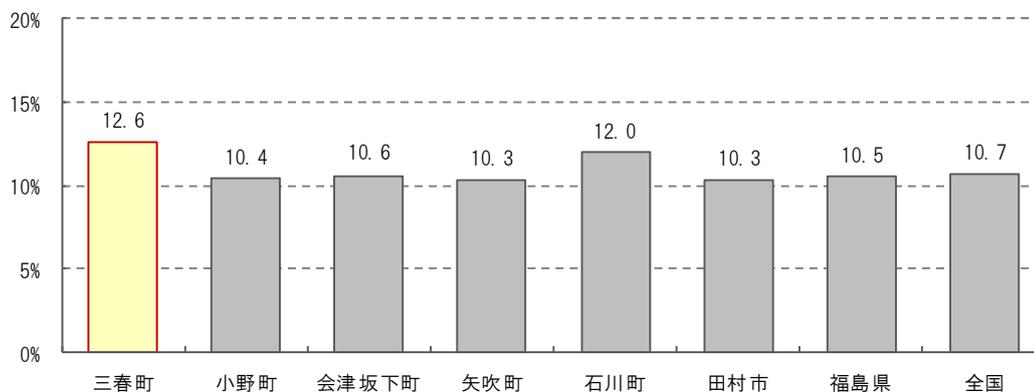
○高齢独居世帯割合の推移をみると、2000年の5.5%から2020年は11.8%となり、20年間で6.3ポイント上昇しています。また、全国、福島県、近隣・同規模自治体も同様に上昇しています。

■ 高齢独居世帯割合の推移に関する比較（2000～2020年）



○三春町の高齢夫婦世帯の割合は、全国（10.7%）、福島県（10.5%）を上回る12.6%で、近隣・同規模自治体の中で最も高い割合となっています。

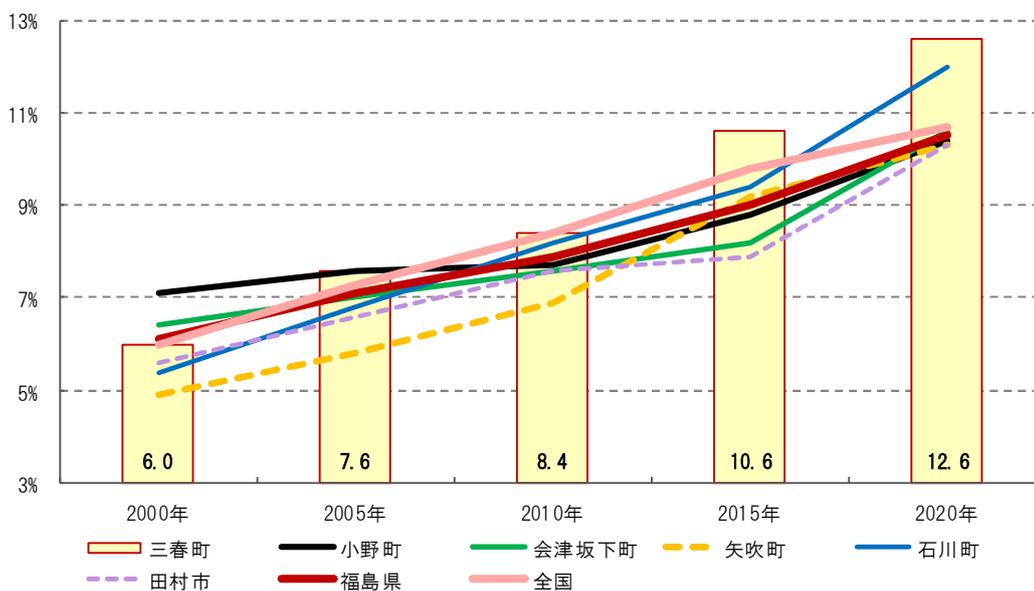
■ 高齢夫婦世帯割合に関する比較（2020年）



（出典）総務省「国勢調査」

○高齢夫婦世帯割合の推移をみると、2000年の6.0%から2020年は12.6%となり、20年間で6.6ポイント上昇しています。また、全国、福島県、近隣・同規模自治体も同様に上昇しています。

■ 高齢夫婦世帯割合の推移に関する比較（2000～2020年）

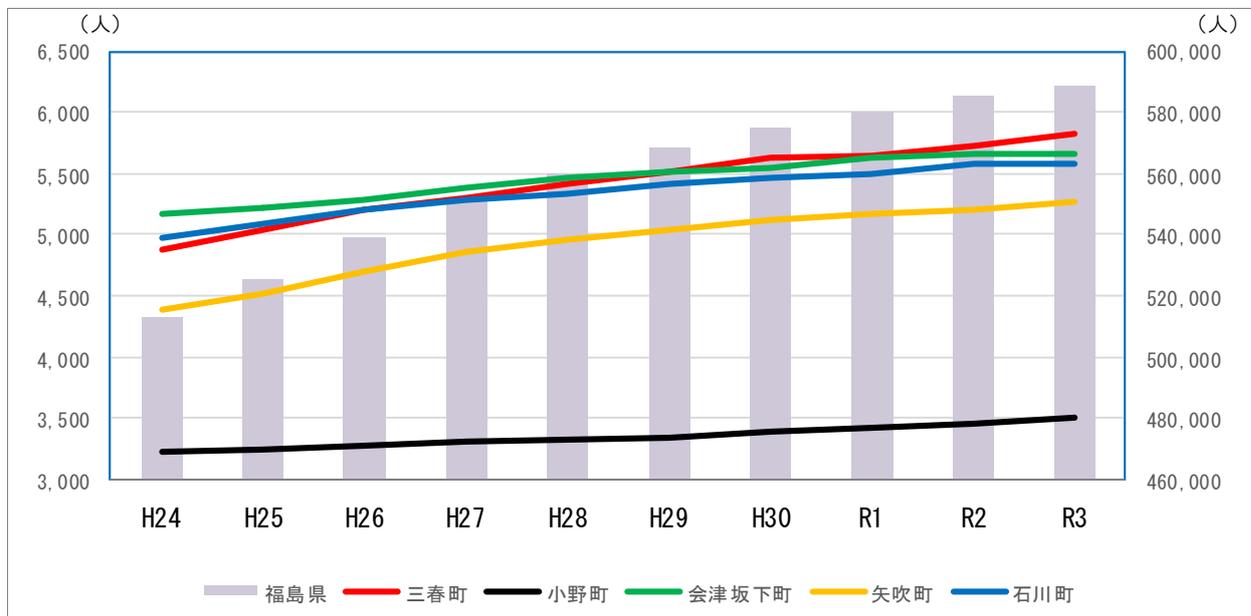


（出典）総務省「国勢調査」

3 第1号被保険者数の比較について

- 三春町の65歳以上の第1号被保険者は、2022年3月末時点で5,826人となっています。
- 第1号被保険者数の推移をみると、年々増加しており、福島県、近隣・同規模自治体も同様の傾向となっています。

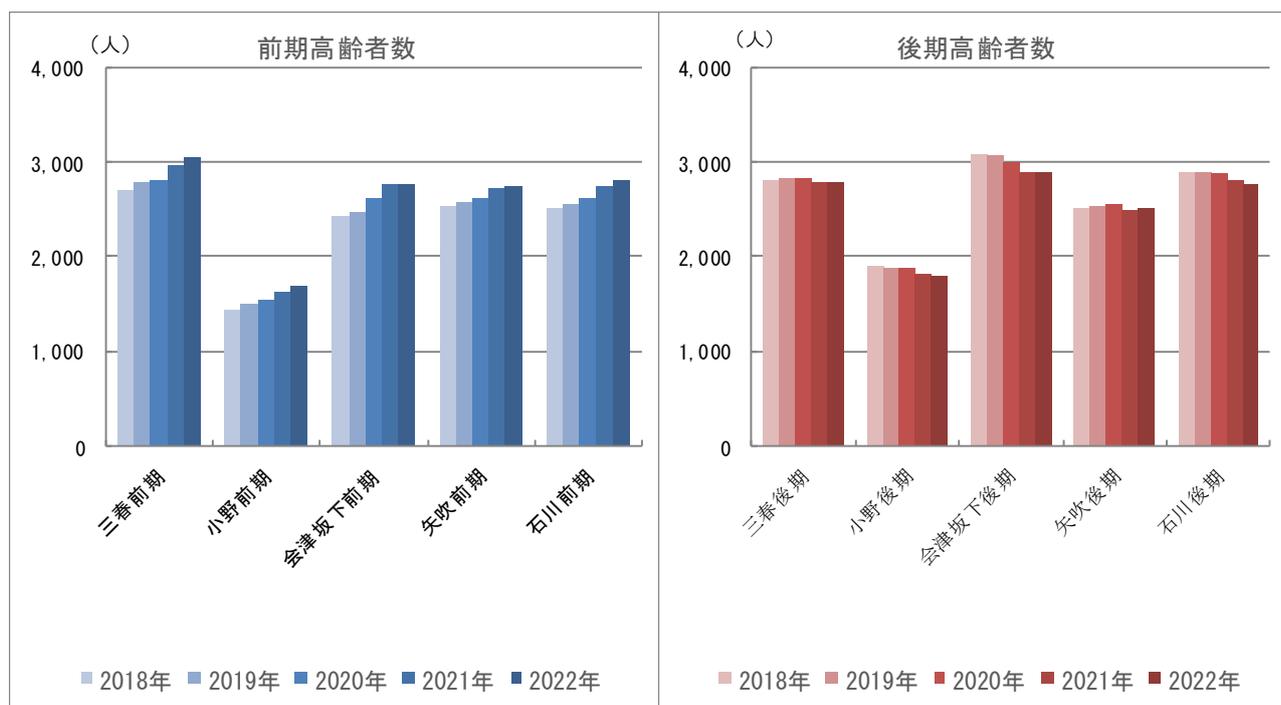
■ 第1号被保険者数に関する比較（2013年～2022年3月末）



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

- 前期・後期高齢者別にみると、前期高齢者は増加傾向ですが、後期高齢者は減少傾向に転じており、近隣、同規模自治体も同様の傾向にあります。

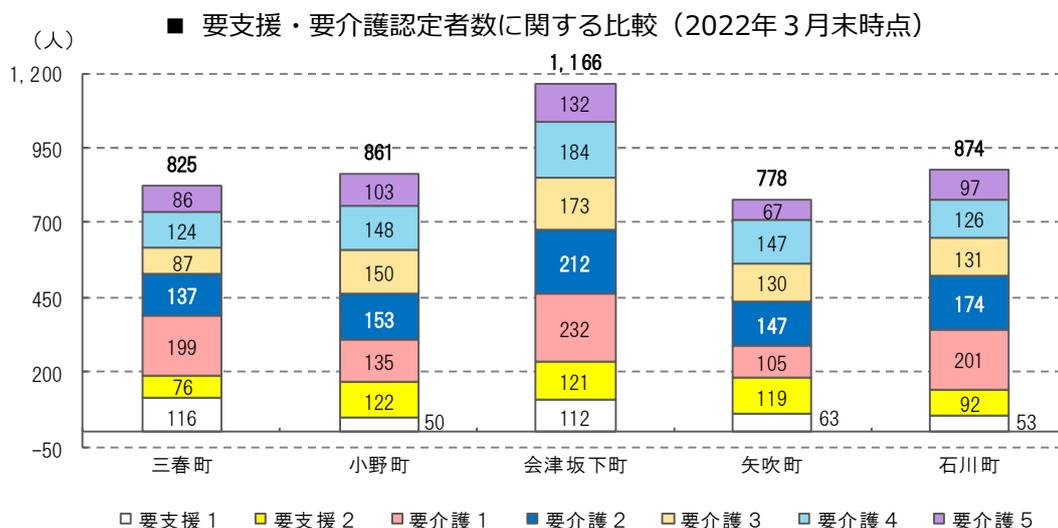
■ 前期高齢者数・後期高齢者数の推移に関する比較（2018～2022年各年3月末）



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

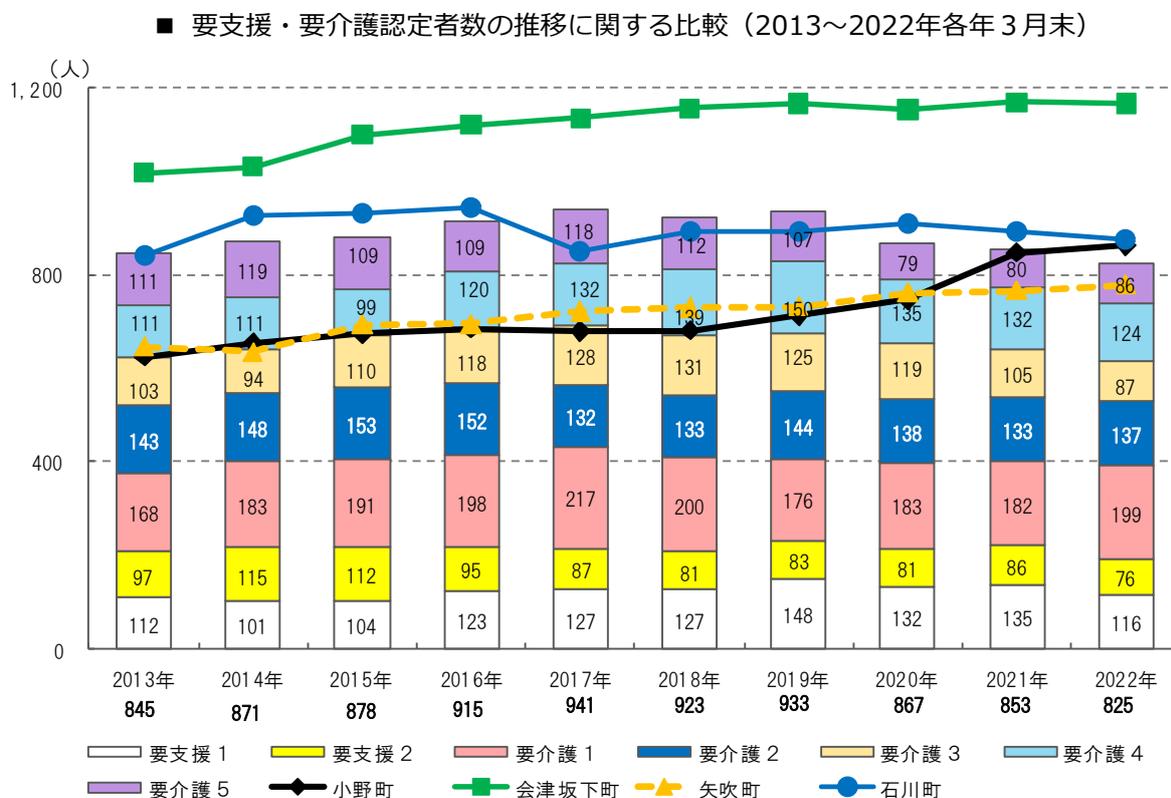
4 要支援・要介護認定者数と認定率の比較について

○三春町の認定者数は、2022年3月末時点で825人となり、近隣・同規模自治体では、矢吹町に次いで少なくなっています。



厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

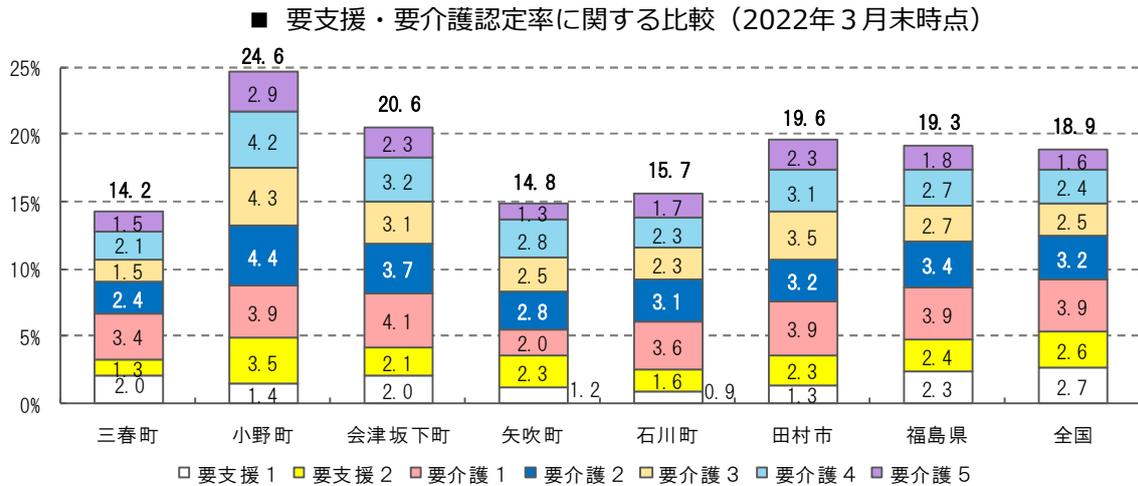
○認定者数の推移をみると、三春町では2013年から2017年にかけては増加傾向、その後は減少傾向にあります。また、近隣・同規模自治体では、会津坂下町は横ばい、石川町は減少傾向、その他は増加傾向となっています。



※2017年（平成29年）4月から、全ての市町村において総合事業が開始され、認定を受けなくとも生活機能の低下が見られる方には、一部のサービスが利用できるようになりました。

厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

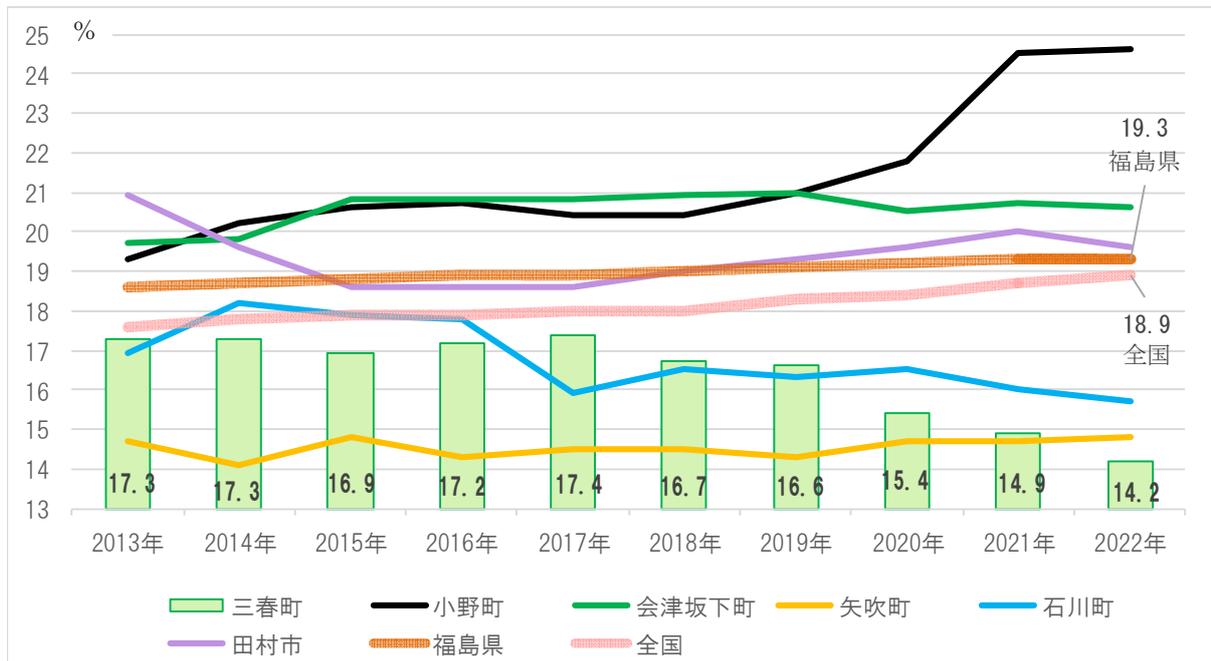
○三春町の認定率は、2022年3月末時点で14.2%となり、全国（18.9%）、福島県（19.3%）より低く、近隣・同規模自治体では、矢吹町に次いで低い割合となっています。



（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

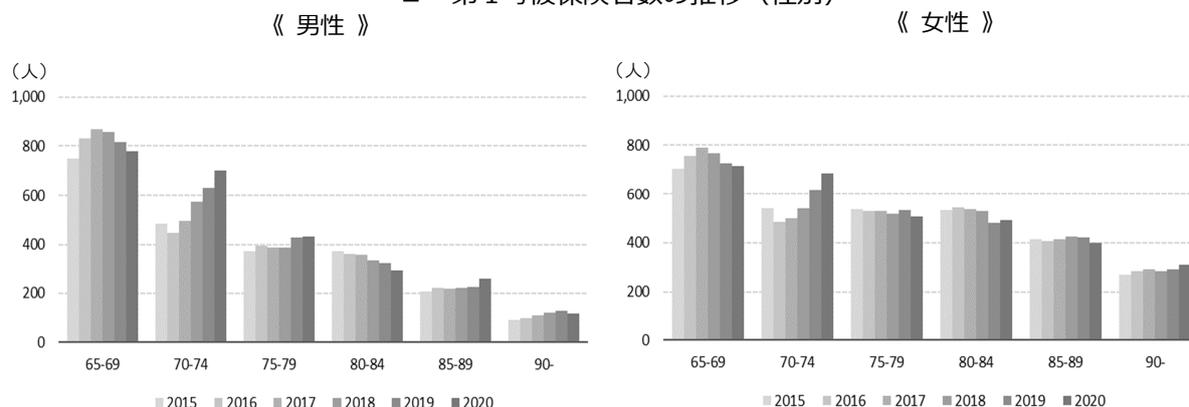
○三春町認定率の推移をみると、2017年以降は減少傾向となり、2022年は14.2%となっています。また全国、福島県は、緩やかに上昇傾向となっていますが、会津坂下町、石川町では三春町と同様に減少傾向が見られます。

■ 要支援・要介護認定率の推移に関する比較（2013～2022年度 各年3月末）



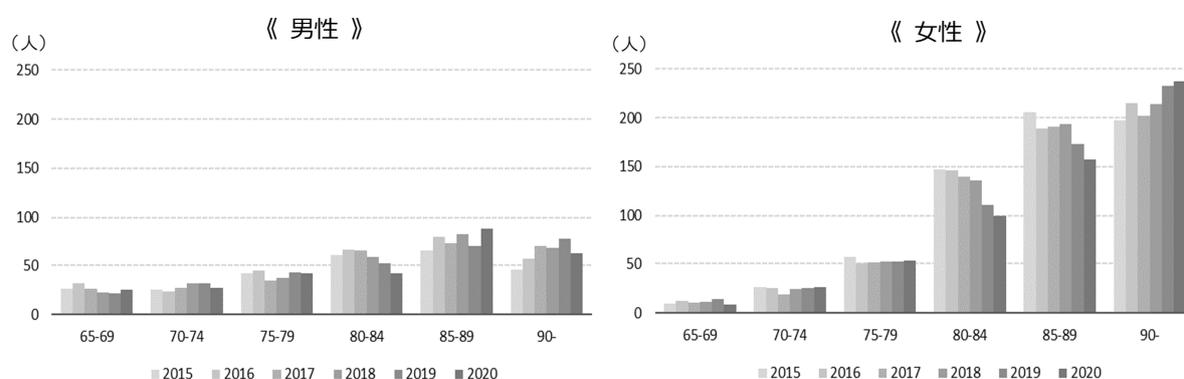
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3,4年のみ「介護保険事業状況報告」月報）

■ 第1号被保険者数の推移（性別）



※第1号被保険者：住民基本台帳9月30日現在の人数

■ 認定者数の推移（性別）



※認定者数：介護保険事業報告9月月報(9月末現在)の人数

■ 年代別認定率の推移（性別）

単位：認定率/%

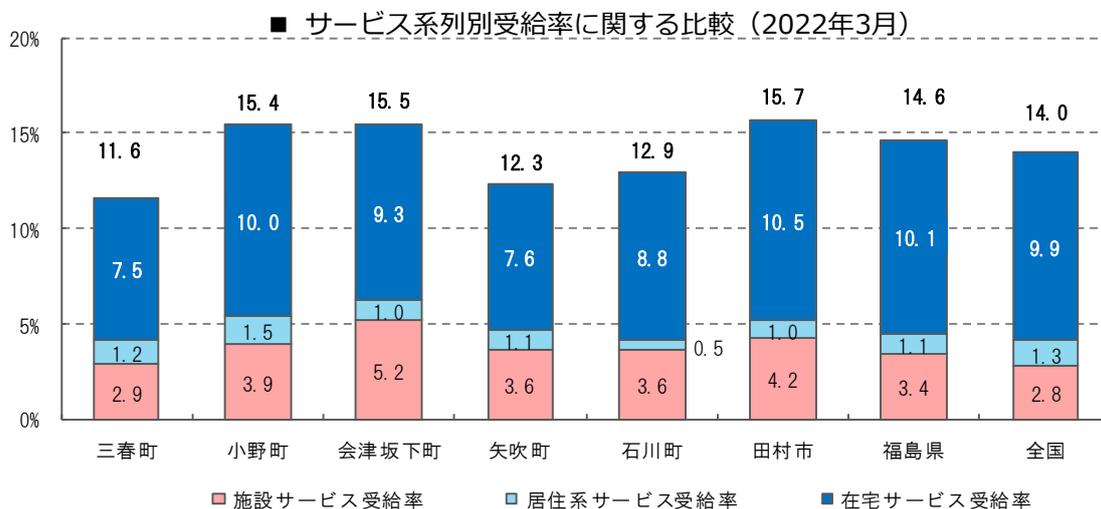
《 男性 》	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳以上	合計
2015年	3.5	5.2	11.2	16.1	31.7	50.5	11.6
2016年	3.8	5.1	11.4	18.3	35.7	57.6	12.8
2017年	3.0	5.4	8.8	18.3	33.3	64.8	12.1
2018年	2.6	5.6	9.5	17.8	37.1	56.7	12.0
2019年	2.6	5.1	10.0	16.1	31.1	60.2	11.6
2020年	3.2	3.8	9.7	14.3	33.9	53.9	11.0

単位：認定率/%

《 女性 》	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳以上	合計
2015年	1.3	4.8	10.6	27.5	49.6	73.2	21.4
2016年	1.6	5.1	9.4	26.8	46.6	75.2	21.1
2017年	1.3	3.8	9.6	26.0	46.2	69.7	20.0
2018年	1.4	4.4	10.0	25.7	45.6	75.4	20.6
2019年	1.9	4.0	9.8	23.1	41.0	79.5	19.8
2020年	1.1	3.8	10.5	20.2	39.3	76.2	18.7

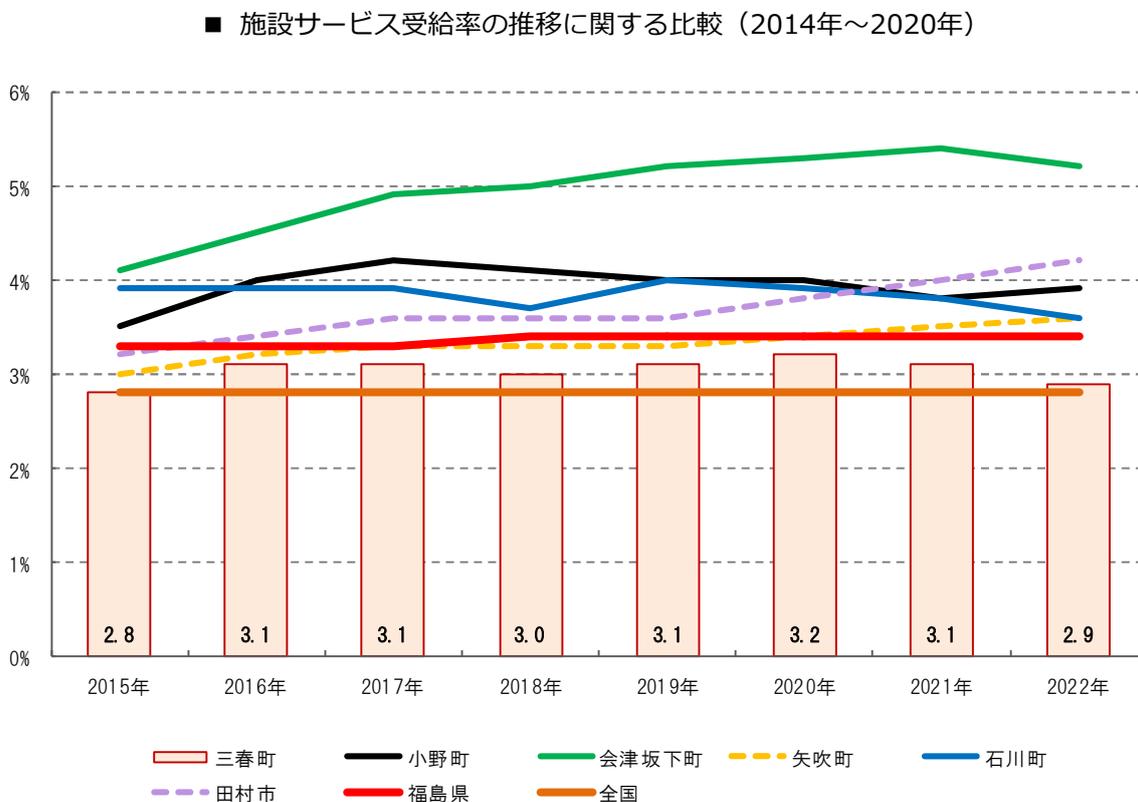
5 受給率の比較について

○三春町の施設・居住系・在宅サービス別の受給率（1月あたりの受給者／1号被保険者数）をみると、在宅サービスが7.5%と最も高く、次いで施設サービス（2.9%）、居住系サービス（1.2%）となっています。また、合計は11.6%となり、全国14.0%、福島県14.6%より低く、近隣・同規模自治体の中でも低い割合となっています。



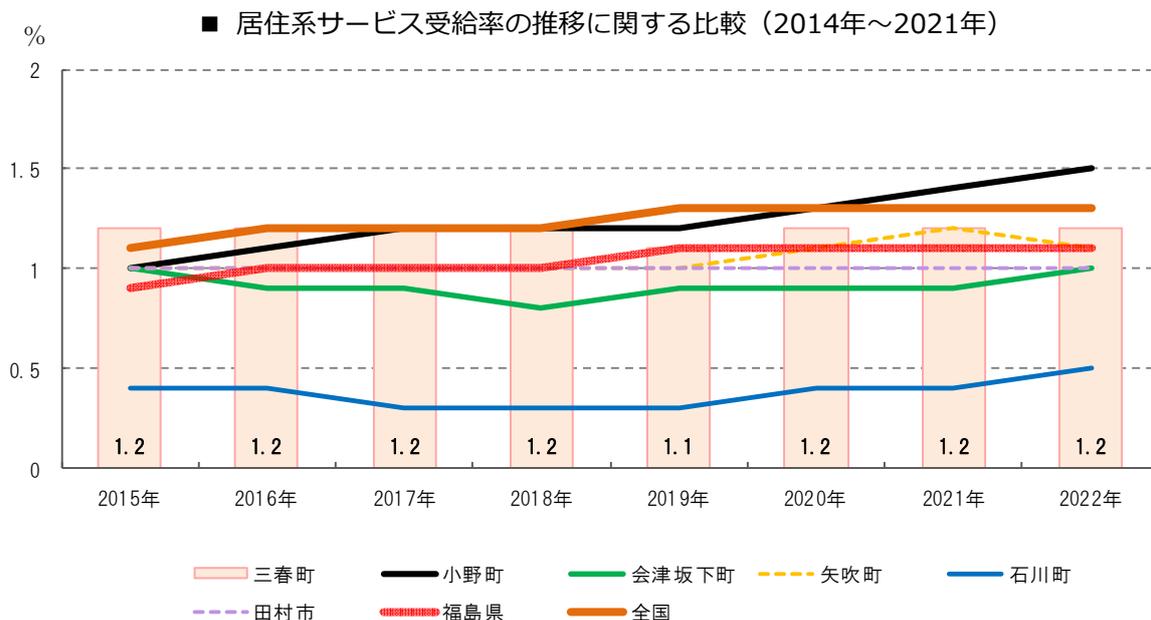
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年、3年度のみ）「介護保険事業状況報告」月報

○施設サービス受給率の推移をみると、福島県平均が全国より高い水準であるが、三春町は福島県よりやや低い3.1%前後で推移し、全国、福島県、と同様、ほぼ横ばいとなっています。



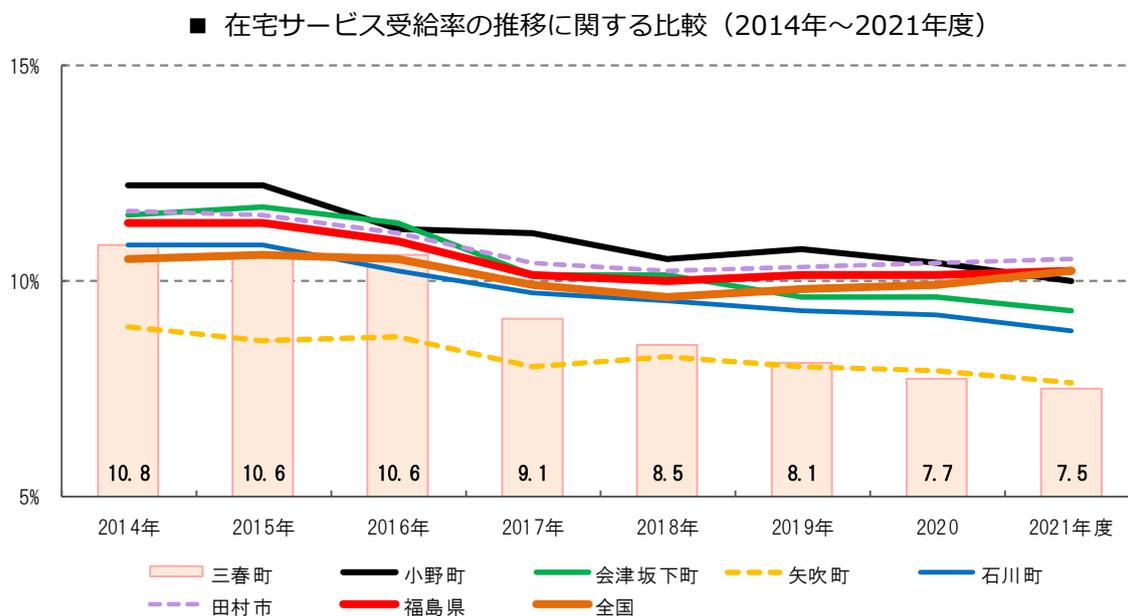
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年、3年度のみ）「介護保険事業状況報告」月報

○居住系サービス受給率の推移をみると、ほぼ横ばいで推移し、全国平均と同程度になっていますが、石川町や会津坂下町よりやや高い水準となっています。



（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年、3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○在宅サービス受給率の推移をみると、年々低下しており、全国、福島県を除く近隣・同規模自治体も同様の傾向となっています。

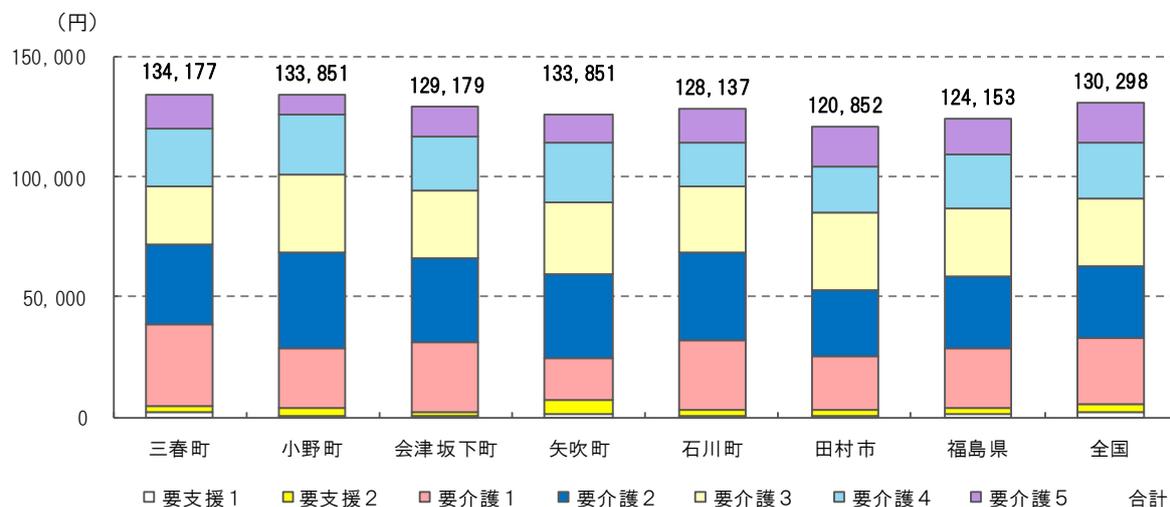


（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年、3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

6 サービス利用者1人あたり給付費の比較について

○三春町の受給者1人あたり給付月額（在宅および居住系サービス）は134,177円となり、全国（130,298円）、福島県（124,153円）よりも高くなっています。また、近隣・同規模自治体の中で最も高くなっています。

■ 受給者1人あたり給付月額（在宅および居住系サービス）に関する比較（2021年）

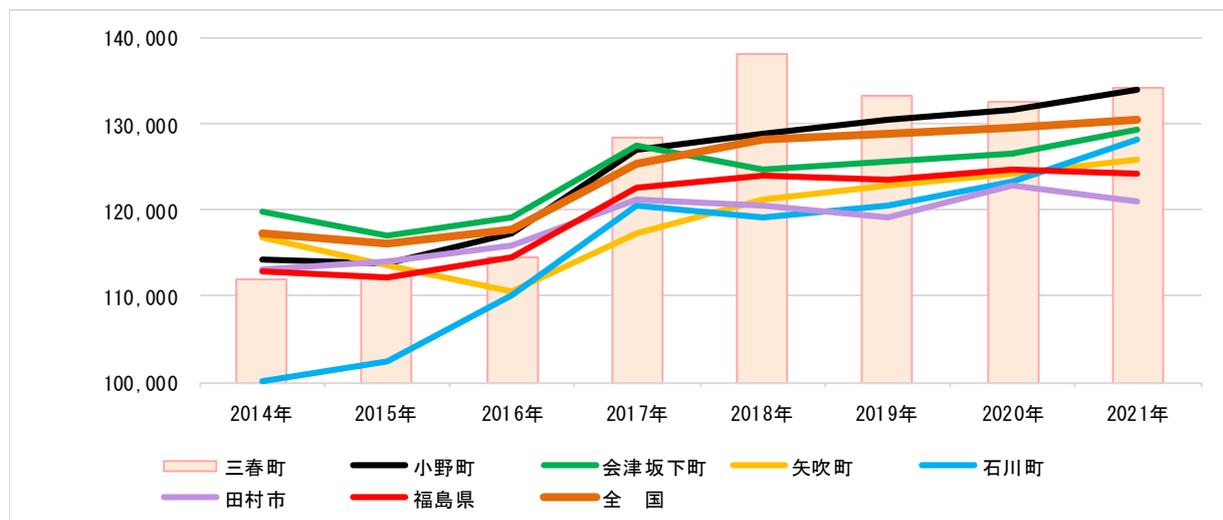


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年、3年度のみ)「介護保険事業状況報告」月報

単位:円

	三春町	小野町	会津坂下町	矢吹町	石川町	田村市	福島県	全国
要支援1	2,114	732	430	1,260	580	923	1,267	1,733
要支援2	2,543	2,861	1,272	5,608	1,969	2,696	2,815	3,640
要介護1	33,154	25,056	24,858	13,340	24,054	21,460	24,441	26,519
要介護2	34,565	41,245	35,978	34,817	37,742	27,328	30,387	31,001
要介護3	26,831	30,557	25,619	30,198	29,036	33,311	27,916	27,439
要介護4	20,893	20,985	21,438	25,166	16,815	19,732	21,840	22,403
要介護5	12,485	10,238	16,903	13,823	13,049	17,229	16,034	16,680
合計	132,584	131,675	126,497	124,213	123,245	122,678	124,700	129,416

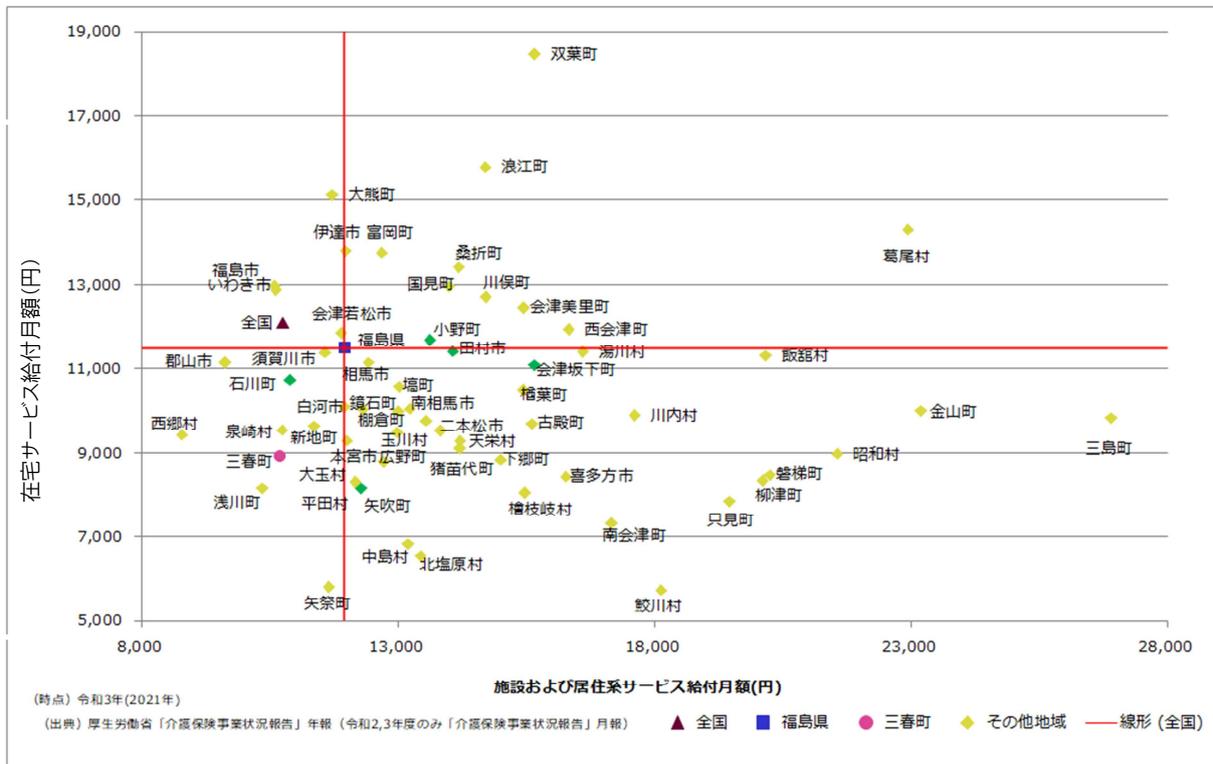
※端数処理の関係で、合計値と合いません。



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年、3年度のみ)「介護保険事業状況報告」月報

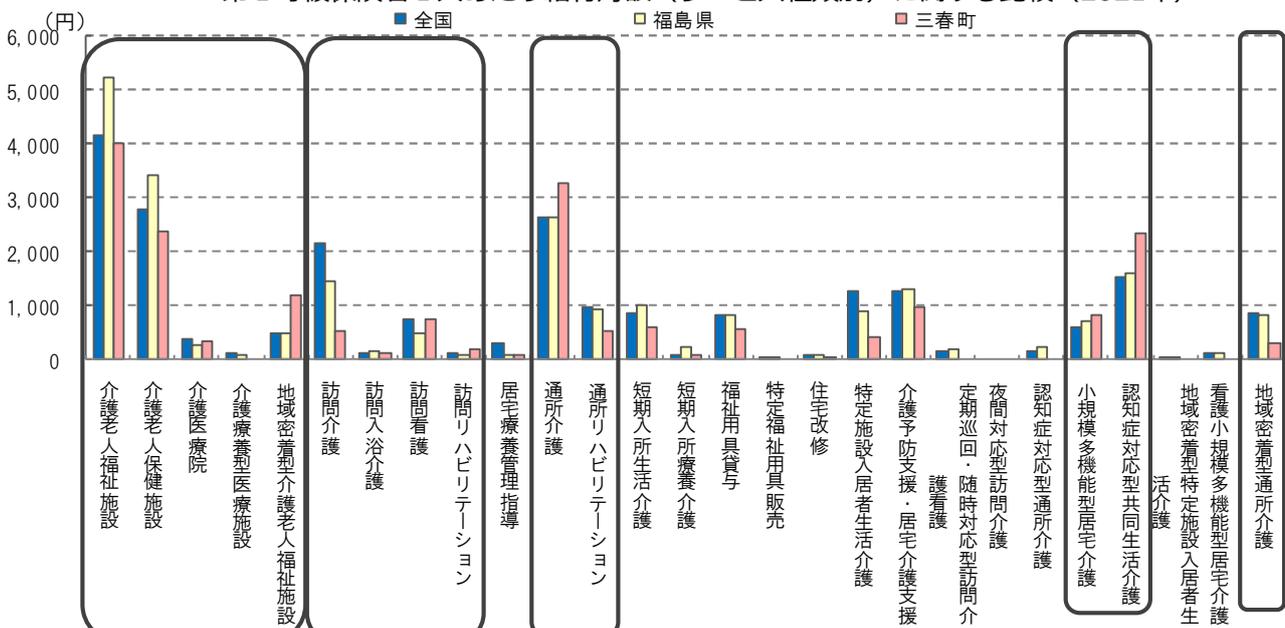
○福島県を起点とした、三春町の第1号被保険者1人あたり給付月額をみると、在宅サービス、施設・居住系サービスは県より低くなっています。

■ 第1号被保険者1人あたり給付月額
(在宅サービス、施設・居住系サービス)に関する分布(2021年)



○三春町の第1号被保険者1人あたり給付月額をサービス種類別にみると、「介護老人福祉施設」が最も高く、次いで「通所介護」、「介護老人保健施設」、「認知症対応型共同生活介護」となっています。また、「通所介護」、「認知症対応型共同生活介護」、「地域密着型介護老人福祉施設」は全国、福島県より高くなっています。

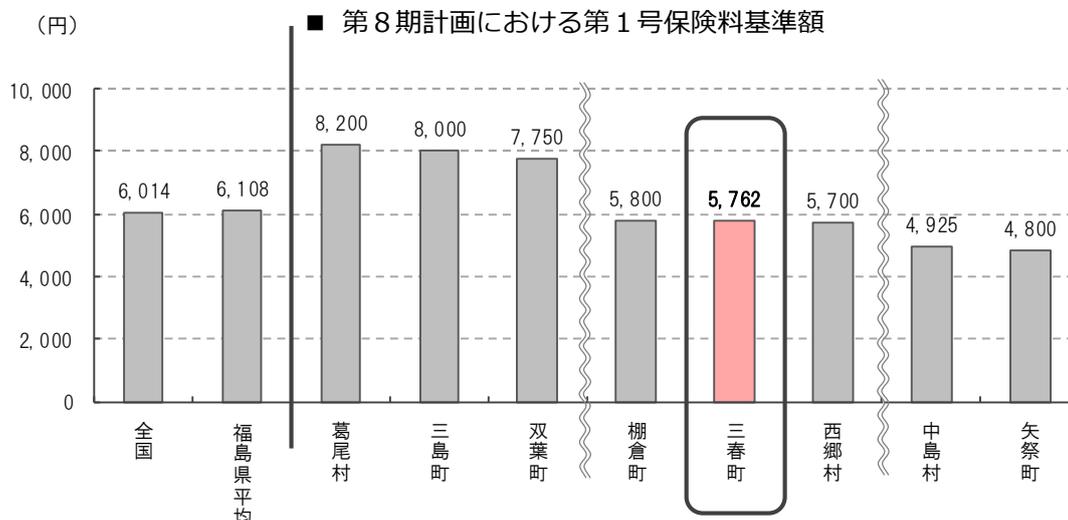
■ 第1号被保険者1人あたり給付月額(サービス種類別)に関する比較(2021年)



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

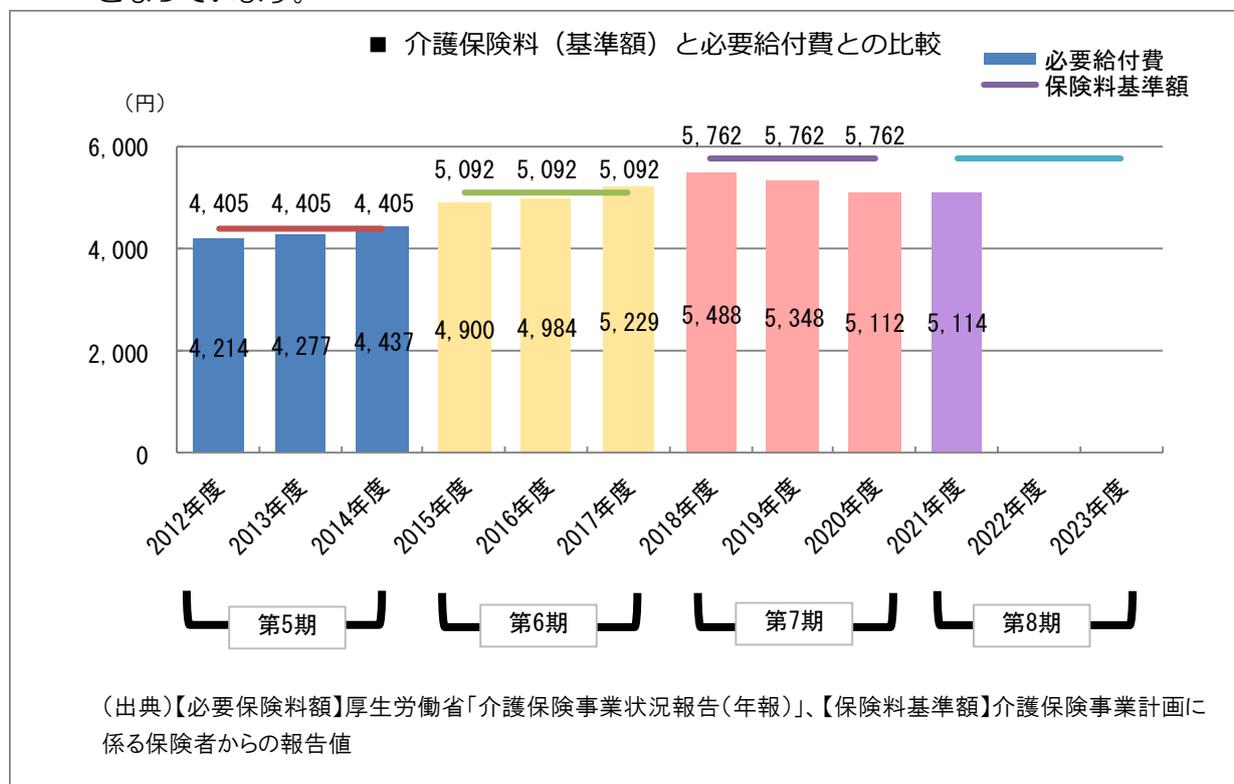
7 福島県内市町村の第1号保険料基準額（月額）の比較について

○三春町の第7期計画における第1号保険料基準額は5,762円となり、全国、福島県より低く、福島県内59自治体中43番目でした。第8期計画においての基準額は据え置きとなり、県内で45番目となりました。



(出典)厚生労働省:介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

○第5期、第6期では介護保険料（基準額）が687円高くなっているものの、どちらも必要給付費と同程度となっています。第7期はさらに介護保険料（基準額）が670円高くなった一方で、必要給付費が大幅に上がっていないことから、第7期の3年間では黒字決算となっています。7期の保険料と据え置きした8期においても、給付費は保険料を下回った状態となっています。



(出典)【必要保険料額】厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

三春町の必要保険料額の降順（2021年度末時点）		
福島県内	41番目	59保険者

**地域包括ケア「見える化」システムを活用した
三春町地域分析レポート**

発行日 令和4年 9月

発行者 三春町 保健福祉課

住所 〒963-7796

福島県田村郡三春町字大町1番地の2

連絡先 TEL：0247-62-3166 FAX：0247-62-0202

URL <http://www.town.miharu.fukushima.jp/>